ラムサール条約湿地　越前加賀海岸国定公園

中池見湿地フィールドマップ

木道　木道以外の歩ける道　水没・池　水路　田・草原　山

ようこそ中池見へ

一見、草ぼうぼうで「なんだ、こんなところ？」と思われるかもしれません。しかし、ここは生き物たちのにぎわいに満ちたところです。風の音、野鳥のさえずりや虫の声、木々の香り、ひっそりと、また色とりどりに咲く、可憐な野の花たちなど、四季折々の表情で皆さんを迎えてくれます。ぜひ、中池見を五感で感じてください。

▲シボラ（支洞）道

▲天筒山から

● 中池見をめぐる歴史

金ヶ崎から天筒山、中池見にかけては、かつて度々戦場となった場所です。中池見は天然の堀の役割を果たしていたと言われており、中池見の南側には「堀切」という地名も残っています。

金ヶ崎の退き口

戦国時代、織田信長は、朝倉攻めの際、守りが手薄だった中池見側から天筒山城を攻略。しかし、金ヶ崎城を落とそうとした時に、妹お市の方の嫁ぎ先である浅井長政が裏切り挟み撃ちに。信長は、秀吉を殿（しんがり）にして撤退、九死に一生を得た。

◀江尻
湿地の水路の最終地点。狭い後谷から、湿地に出た時の開放感は最高です。

◀後谷
湿地から唯一水が流れ出る谷でホタルの生息地。ゆったりと曲がる昔ながらの道は散策にオススメです。

▲笹鼻江上流部の池
かつては水田でしたが、バイパス工事の残土を客土したところ沈んでしまい、逆に池になってしまいました。水鳥の姿がよく見られます。

▲田んぼ
ボランティアで守っている昔ながらの田んぼには、今では希少となった生き物たちが育まれています。畦道をゆっくり歩いてお楽しみください。

▲木道

◀敦賀の古民家
この茅葺きの家は、築約100年の伝統的な敦賀様式の農家を敦賀市杉箸から移築したものです。この農家では、実際に中池見の田んぼで使われていた田舟や田下駄、鍬などの農具を展示しています。それぞれの農具は、中池見の「深田」で作業しやすいように様々な工夫が凝らされています。

▲こもれびの道

田下駄

▲わくわく山から
こもれびの道を上がったら、まず登ってみてください！広々とした風景にワクワクしますよ！

▲ビジターセンター

▲多目的室

ビジターセンターでは、来園された皆様が中池見をお楽しみいただけるよう、その季節ごとの動植物の情報や散策ポイントをお知らせしています。また館内には中池見の成り立ちが分かるパネルなどの常設展示のほか、ボランティアによる中池見の水辺にいる生き物展示などを行っています。

▲２Ｆ展示室

▲生き物展示

★湿地散策用の長靴を貸し出しています。